

令和 5 年度事業報告

令和 5 年度（令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで）における一般社団法人全国治水砂防協会の事業の概要を、次のとおり報告します。

記

令和 5 年 5 月 25 日開催の第 87 回通常総会において理事会議決事項として報告された令和 5 年度事業計画及び収支予算書等に準拠して、以下の事業を実施した。

I. 砂防事業の拡充・促進についての活動

1. 「全国治水砂防促進大会」の開催

令和 5 年 11 月 16 日、会員等約 1,600 名が、シェーンバッハ・サボー（利根）に参集し、多数の国会議員等の来賓を迎え、全国治水砂防促進大会を開催した。

大会に先立ち、静岡大学の牛山素行教授より「洪水・土砂災害は起こりうるものが、起こりうる場所で」と題する特別講演が行われた。

大会では、国土交通省の草野愼一砂防部長より「『いのち』と『くらし』と『みどり』を守る砂防」と題する講演が行われた後、会員を代表して、福岡県朝倉市の林 裕二市長より「洪水・土砂・流木の複合災害と復旧効果」、長野県茅野市の今井 敦市長より「令和 3 年 9 月 5 日発生 茅野市下馬沢川土石流災害における避難対応について」と題して砂防関係事業の必要性等を訴える意見発表が行われた。これらを踏まえ、小林則幸副会長から砂防関係事業の促進に関する大会提言の説明がなされ、満場一致で採択された。

大会終了後、提言の実現に向けて、政府並びに国会関係に対し、力強く要望活動を行った。

「提言内容」

(1) 土砂災害防止施設の強力な整備推進

国及び都道府県は、土砂災害から人命を守り、安心して住める地域にするため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を引き続き強力に推進すべく必要かつ十分な予算を確保するとともに、物価高騰や賃上げの対応にも十分な配慮をすること。さらに、5か年加速化対策後も国土強靱化の取り組みを継続的かつ安定的に進めるため、国土強靱化実施中期計画を早期に策定し、必要な事業規模を確保すること。

(2) 流域治水『砂防』の推進

国及び都道府県は、土砂・洪水氾濫や流木を伴う激甚な土砂災害が頻発していることに鑑み、河川事業との連携はもとより、防災まちづくりを考慮した土砂災害対策や林野部局と連携した流木対策等を実施し、流域治水『砂防』を推進すること。特に、土砂・洪水氾濫対策を強力に推進するため、危険流域の抽出調査を速やかに実施するとともに、併せて流木対策を計画的に実施すること。

(3) 地域を支える砂防事業の推進

国及び都道府県は、地域の社会・経済活動を支える基本的なインフラの保全等を通じて、国民の「いのち」と「暮らし」を守るための砂防事業を推進すること。その際、地域の特性やまちづくり計画を踏まえたきめ細かな事業となるよう十分に配慮すること。

(4) 既存施設の老朽化対策と機能の強化

国及び都道府県は、既存施設の老朽化対策をDXの加速化により計画的に推進すること。併せて、流木対策施設の設置や砂防堰堤に堆積した土砂の除石、特に土石流を捕捉した場合に緊急除石による早期の砂防施設の機能回復を図り、施設効果が最大限に発揮されるよう取り組みを進めること。併せて、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、砂防堰堤を活用した小水力発電や緑を活用した土砂災害対策等に取り組むこと。

(5) 警戒避難体制の強化

国及び都道府県は、地域の防災力の向上を図るため、土砂災害警戒区域等の抽出や土砂災害警戒情報の精度向上に取り組むとともに、災害時の避難につながる地域の取り組みを支援すること。併せて、火山噴火や大規模災害時等に迅速な対応が行えるよう、デジタル技術等の新技術の開発活用を進めること。

(6) 組織・人員の強化

国及び都道府県は、砂防事業の推進および適切な施設等管理に必要とされる人員・体制の確保を図ること。併せて、デジタル技術を活用した TEC-FORCE 等による災害発生時の円滑な自治体支援のため、地方整備局や研究機関において、必要な人員・体制の強化を図ること。また、地域の安全・安心のアドバイザーとして欠かせない存在である砂防分野の大学の研究者が継続して確保されるよう関係機関への働きかけなどの取り組みを進めること。

2. 令和6年能登半島地震による土砂災害を踏まえた緊急提言

令和6年元日に発生した能登半島地震による災害について、「令和6年能登半島地震による土砂災害を踏まえた緊急提言」を、1月31日に森山裕会長から斉藤鉄夫国土交通大臣にその実現を要請した。同日、大野宏之理事長から国土交通省幹部と草野慎一砂防部長他、砂防部幹部への要請活動も行った。

Ⅱ. 事業活動

1. 調査研究

(1) 砂防に関する調査研究及び助成

静岡大学、愛媛大学、九州大学、名古屋大学、京都大学及び呉市への助成を行った。

(2) 砂防の人材育成に関する懇談会

砂防分野の人材の確保・育成の取り組みについて、国土交通省や各大学と情報を共有するとともに、今後の連携とより効果的な取り組みに向けて

意見交換を行った。

2. 国際協力に関する活動

- (1) (一社)国際砂防協会の活動への支援
- (2) 台湾との砂防共同研究への支援
- (3) イタリア、ブラジルとの砂防技術交流への支援
- (4) 国際防災学会インタープリメントへの協力と環太平洋インタープリメント協議会の運営支援を行った。
- (5) 国際砂防ネットワークの運営支援

土砂災害防止に携わる各国の行政機関や技術者に対し、土砂災害の実態や土砂災害防止対策に関する情報交換を行うための国際砂防ネットワークの運営を支援した。

3. 各種委員会等における活動

大学、国土交通省、内閣府、地方行政機関、砂防学会及び砂防関係団体等から、非常勤講師や理事あるいは委員等の委嘱を受け、学識経験者として砂防に関する調査研究や施策の立案に参画する等の活動を行った。

4. 広報・啓発

- (1) 土砂災害防止月間（6月）

土砂災害の防止および軽減に関しての国民の関心と理解を深めるため国土交通省が実施する「土砂災害防止月間」の全国的な諸行事に対し、その活動への参加、支援を行った。

- (2) 雪崩防災週間（12月1日～7日）

雪崩災害に対する国民の理解と関心を深めるため、週間の諸行事に対し、その活動への支援を行った。

- (3) 2023火山砂防フォーラム

火山砂防フォーラムが令和5年10月19日～20日に岩手県雫石町で開催され、その活動への支援を行った。

(4) 赤木記念館及び「砂防の父赤木正雄展示館」

赤木記念館の整備を図るとともに、赤木正雄博士の業績に関する資料を展示し、広く一般の人々に砂防の重要性を理解してもらう活動を行っている「(一社) 砂防の父赤木正雄展示館」への支援を行った。

(5) 砂防現地視察と討論会

令和5年10月10日～11日、宮城県丸森町及び蔵王町において「第9回砂防現地視察と討論会」を行った。

(6) 講演活動

市町村等の行政機関、大学、砂防ボランティア及び日本防災士機構からの要請を受け、土砂災害防止に関する講演活動を数多く行った。

5. 講習会・研修会等の開催

(1) 土砂災害対策実務者講習会

令和5年8月4日、シェーンバッハ・サボー（利根）において「第10回土砂災害対策実務者講習会」を開催し、204名が受講した。

(2) 砂防および地すべり防止講習会

令和6年2月15日～16日、シェーンバッハ・サボー（利根）において「第64回砂防および地すべり防止講習会」を開催し、239名が受講した。

6. 情報提供

(1) SABO NEWS LETTER の提供

国土交通省砂防部の協力を得て、砂防関係の諸情報や砂防協会からのお知らせを会員などに迅速に伝えるとともに、会員からの意見、情報を収集するため、「SABO NEWS LETTER」を電子メールにより会員などへ配信した。

(2) ホームページ等の提供

当協会の沿革、事業内容、出版等の諸情報をはじめ砂防に関するニュース等をホームページ(<https://www.sabo.or.jp/>)やX(旧Twitter)(https://twitter.com/sabo_JSA)により広く提供した。

7. 機関誌の発行と砂防関係図書の出版

- (1) 当協会の機関誌「砂防と治水」を年6回（第272号～第277号）発行し、会員をはじめ砂防関係各機関、大学等に広く配布及び頒布し、情報提供を行った。
- (2) 次の図書を刊行し、砂防関係行政の実務者、学術研究者等に広く頒布及び配布し、学術・技術の向上に寄与した。
 - 1) 第10回土砂災害対策実務者講習会テキスト
 - 2) 第64回砂防および地すべり防止講義集
 - 3) 砂防白書（令和4年度版）

8. 砂防図書館の運営

砂防に関する図書及び諸資料を収集・整理し、砂防関係者等の閲覧に供し、砂防行政及び調査研究の発展に寄与するため、砂防会館内に設置されている砂防図書館（当協会、（公社）砂防学会、（一財）砂防・地すべり技術センター、（一財）砂防フロンティア整備推進機構、（一社）斜面防災対策技術協会の5団体共同事業）を共同運営した。

9. 学会等の関係団体への参加・支援等

（公社）砂防学会のシンポジウム等関係団体行事への参加、支援等を行った。

10. 表彰

(1) 功労者表彰

当協会の表彰規程に基づく功労者表彰（第38回）の受賞者が表彰審査委員会において決定され、令和5年5月25日開催の第87回通常総会において森山会長から次の5名の方々に授与された。（敬称略・五十音順）

伊 藤 康 志 宮城県砂防協会理事
(大崎市長)

大 宅 宗 吉 前福島県砂防協会会長
(前南会津町長)

入 村 明 前新潟県治水砂防協会副会長
(前妙高市長)

村 山 秀 幸 前新潟県治水砂防協会評議員
(前上越市長)

吉 本 秀 樹 京都府砂防・治水・防災協会副会長
(伊根町長)

(2) 赤木賞表彰

当協会の赤木正雄顕彰規程に基づき、砂防技術及び砂防事業の発展に功績のあった各氏に、令和6年2月15日開催の砂防および地すべり防止講習会に先立ち、赤木各賞を贈り顕彰を行った。(敬称略)

1) 赤木賞

平 松 晋 也 (信州大学名誉教授)

2) 赤木顕功賞

山 平 英 夫 (元北海道建設部砂防災害課長)

堀 内 成 郎 (元関東地方整備局富士川砂防事務所長)

加 藤 清 和 (元青森県県土整備部河川砂防課長)

松 岡 雅 臣 (元山梨県県土整備部砂防課長)

網 倉 孝 (元神奈川県県土整備部砂防海岸課長)

平 野 幸 生 (元新潟県土木部砂防課長)

山 崎 隆 (元京都府建設交通部砂防課長)

中 村 達 (元群馬県県土整備部砂防課長)

野 田 猛 (元北陸地方整備局阿賀野川河川事務所長)

野 中 聡 (元岩手県県土整備部砂防災害課総括課長)

藤 山 知之 (元和歌山県県土整備部河川・下水道局砂防課長)

故 福 井 康 二 (元愛知県建設部砂防課長)

3) 赤木功績賞

内 山 壽 長 (元長野県姫川砂防事務所長)

依 田 一 (元山梨県土木部中北建設事務所次長)

谷 口 房 一 (元奈良県五條土木事務所主幹)

埴 田 龍 雄 (元高知県四万十町事務所長)

湊 隆 (元関東地方整備局利根川水系砂防事務所副所長)

葎 葉 孝 男 (元栃木県鹿沼土木事務所整備部長補佐兼整備第二課長)

Ⅲ. 協会の運営事項

1. 会員に関する事項

令和5年度末における会員数は、次のとおりである。

正 会 員	{	市町村会員	1,404	(前年度末比	増減	0)
		個人会員等	34	(前年度末比	増	1)
賛助会員			42	(前年度末比	増	1)
合 計			1,480	(前年度末比	増	2)

2. 役員等の異動について (敬称略)

(1) 理事の異動

所 属	新	旧	就任(退任) 年 月 日
全国治水砂防協会	青 木 一 彦		5 . 5 . 25
全国治水砂防協会	岸 本 俊 介		5 . 5 . 25
全国治水砂防協会	西 出 則 武		5 . 5 . 25
三 重 県	日 沖 靖	(評 議 員)	5 . 5 . 25
岡 山 県	片 岡 聡 一	(評 議 員)	5 . 5 . 25
全国治水砂防協会	辞 任	宮 下 一 郎	5 . 9 . 13
大 分 県	辞 任	川 野 幸 男	5 . 12 . 24

(2) 評議員の異動

所 属	新	旧	就任(退任) 年 月 日
岡 山 県	片 岡 聡 一	武 久 顕 也	5 . 5 . 9
福 島 県	遠 藤 雄 幸	—	5 . 5 . 25
岐 阜 県	岡 崎 和 夫	(理 事)	5 . 5 . 25
三 重 県	(理 事)	日 沖 靖	5 . 5 . 25
兵 庫 県	丸 谷 聡 子	泉 房 穂	5 . 5 . 25
岡 山 県	(理 事)	片 岡 聡 一	5 . 5 . 25
広 島 県	平 谷 祐 宏	(理 事)	5 . 5 . 25
京 都 府	吉 本 秀 樹	(故)堀 忠 雄	5 . 7 . 6
沖 縄 県	中 村 正 人	桑 江 朝千夫	5 . 7 . 12
兵 庫 県	山 崎 晴 恵	丸 谷 聡 子	5 . 7 . 14
長 崎 県	古 川 隆三郎	大久保 潔 重	5 . 7 . 28
山 梨 県	金 丸 一 元	船 木 直 美	5 . 7 . 31
徳 島 県	町 田 寿 人	花 本 靖 (代 理)	5 . 7 . 31
石 川 県	大 森 凡 世	(故)山田 憲昭	5 . 8 . 2
福 岡 県	美 浦 喜 明	永 原 譲 二	5 . 8 . 18
京 都 府	西 谷 信 夫	吉 本 秀 樹	5 . 9 . 29
(一財)砂防・地す べり技術センター	栗 原 淳 一	南 哲 行	5 . 11 . 1
東 京 都	大勢待 利 明	浜 中 啓 一	5 . 11 . 29

3. 会議の開催

(1) 総 会

第87回通常総会 令和5年5月25日 於：シェンバツハ・サボー(利根)

第1号議案 令和4年度決算審議

第2号議案 役員等改選審議

第1号報告 令和4年度事業報告
第2号報告 令和4年度公益目的支出計画実施報告
第3号報告 令和5年度事業計画報告
第4号報告 令和5年度収支予算報告
功労者表彰

(2) 理事会

(第1回) 令和5年5月9日 於：別館B3階 六甲会議室

議題：令和4年度事業報告について

代表理事職務執行状況報告

令和4年度決算（案）について

令和4年度公益目的支出計画実施報告について

令和5年度事業計画について

令和5年度収支予算（修正）について

役員等改選について

令和5年度通常総会（第87回）招集について

(第2回) 令和5年5月25日 於：別館シェンバツハ・サボー

利根会議室(控室)

会長等の選任について

(第3回) 令和6年2月22日 於：別館B3階 霧島会議室

報告：令和5年度事業報告及び決算見込み報告の件

代表理事職務執行状況報告の件

議題：令和6年度事業計画（案）審議の件

令和6年度収支予算（案）審議の件

令和6年度通常総会日程審議の件

新規会員入会の可否について審議の件

(3) 評議員会

令和5年5月24日 於：別館B3階 六甲会議室

議題：令和4年度事業報告について

令和4年度決算について

令和4年度公益目的支出計画実施報告について

令和5年度事業計画について

令和5年度収支予算について

役員等改選について

その他

(4) 理事・顧問会議 令和5年9月28日 於：「ホテル軽井沢1130」会議室

(群馬県嬭恋村)

議題：令和5年度事業・運営事項等について

地域の砂防の実情等について

砂防行政に関する最近の話題について

全国治水砂防促進大会提言（案）について

その他

(5) 監事会 令和5年5月8日 於：別館B2階 特別会議室

議題：令和5年度事業実施状況及び決算について

(6) 参与会

(第1回) 令和5年5月24日 於：別館B3階 立山会議室

議題：本協会の運営について

その他

(第2回) 令和5年11月15日 於：別館B3階 穂高会議室

議題：本協会の運営について

その他

(7) 代表参与会

(第1回) 令和5年5月24日 於：別館A2階 特別会議室

議題：砂防関係事業の推進方策について

その他

(第2回) 令和5年11月15日 於：別館A2階 特別会議室

議題：砂防関係事業の推進方策について

その他

(8) 賛助会員情報連絡会議

(第1回) 令和5年5月24日 於：別館B3階 霧島会議室

議題：本協会の運営について

その他

(第2回) 令和5年11月15日 於：別館B3階 霧島会議室

議題：本協会の運営について

その他

(9) 直轄砂防事務所長連絡会

(第1回) 令和5年5月24日 於：別館B3階 穂高会議室

議題：本協会の運営について

その他

(第2回) 令和5年11月15日 於：別館B3階 立山会議室

議題：本協会の運営について

その他

(10) 全国支部事務局 令和6年2月14日 於：別館B3階 霧島会議室
員会議 議題：令和5年度の主要な事業報告等について

連絡事項について

4. 支部との連携

(1) 地区支部長会議等への参画及び協力

下記の地区支部長会議に本部から役員が出席し、支部関係者間との連携を深めるとともに、その活動への協力を行った。

各地区支部長会議

東北地区	令和5年7月11日～12日	(岩手県盛岡市)
関東・甲地区	令和5年11月1日～2日	(埼玉県秩父市)
北陸・信越地区	令和5年10月23日～24日	(新潟県糸魚川市)

東 海 地 区	令和 5 年10月25日	(静岡県静岡市)
近 畿 地 区	令和 5 年11月 1 日	(京都府京都市)
中 国 地 区	令和 5 年10月25日～26日	(岡山県岡山市)
四 国 地 区	令和 5 年11月 7 日	(徳島県徳島市)
九 州 地 区	令和 5 年10月30日～31日	(熊本県熊本市)

(2) 支部総会への参加

本部役員は、各地の支部総会に出席し、講演等を行うとともに、砂防事業の推進等について会員との情報及び意見交換を行った。

IV. 砂防会館の運営等について

砂防会館の運営状況

(1) 本館

貸室として提供し、適正な管理及び運営を行った。

(2) 別館

当協会が役員室、事務室、赤木記念館等に使用している部分を除き、貸室、貸会議室等として提供し、適切な管理・運営を行った。

また、地階駐車場については、貸室入居者及び会議室利用者等の利用に供し、効率的な運営を図った。